

平成30年度第1回バリアフリー吹田市民会議 議事録

開催日時：平成30年10月22日（月）午前10時～午前11時15分

開催場所：総合福祉会館1階 集会室

出席者：バリアフリー吹田市民会議委員

長井敬二委員、池田篤委員、栗田智代委員、畑中タカ子委員、尾崎隆委員、
野口裕嗣委員

（欠席：赤尾広明委員、大江卓司委員、萩原智子委員、三好桂子委員、廣瀬
力松委員）

市出席者

地域教育部中央図書館 宮東館長、同 長参事、同 池田主幹、同 栗生主
査、同 泉屋主任

行政経営部資産経営室 道端主査、同 嶺岸主任

株式会社 丸川建築設計事務所

事務局

福祉部障がい福祉室 西村室長、同 竹本参事、同 浅井主幹、同 飯田主
任

傍聴者 2名

会議次第：1 開会

（1）委員紹介

（2）市職員紹介

2 案件説明・討論

（1）吹田市立中央図書館耐震補強及び大規模改修工事について

《議事要旨》

会 長：挨拶

吹田市立中央図書館耐震補強及び大規模改修工事について説明をお願い
いたします。

担当課：吹田市立中央図書館耐震補強及び大規模改修工事 説明

会 長：何か御意見、御質問等があればお願いします。

A委員：6月に大阪北部地震がありました。中央図書館で被害がどの程度あったのか教え
てほしいことと、現状の延床面積と新しく壁が増えると狭くなると思いますが、
部屋の広さが感じられる工夫は何かされるのでしょうか。

担当課：大阪北部地震の影響について、亀裂が増えたのは見られましたが、大きな被害は
ございませんでした。

A委員：当日エレベーターは止まらなかったですか。

担当課：止まっておりました。耐震壁による狭さを感じさせないことについて、閲覧室を
少し大きくし、本棚の位置を変えようと思っております。

会 長：他何か、御意見、御質問はございませんか。

B委員：通路の広さの検証はされていますか。多様な車いすの方がいます。

担当課：エレベーターは広くなり、電動車いすにも対応できるようにさせていただきたいと思っています。通路の広さは現状と変わらない見通しです。

A委員：基本の柱の移動は無理だと思います。図書館として車いすの規格を調べてもらい、どうしても乗らない機種はこうです、この車いすまでは対応できますと事前の説明があればトラブルも少ないのではないのでしょうか。

担当課：今現在、小さい電動車いすでも入らない形になっておりますので、そこは何とか入れるようにしたいと思っておりますが、元々のエレベーターの入っている枠は変わらないです。2階部分は、レイアウトを全面的に見直す予定にしておりますので、車いすが通っても横に人が通れるくらいにはしたいと思っております。

B委員：4階建てで多目的トイレが1つは少ないのではないのでしょうか。改良していただきたい。

会 長：1階の授乳室は自由に出入りできる形式のものでしょうか、それとも職員に声をかけないと利用できないのでしょうか。

担当課：運用になってくると思います。

会 長：運用面で普段から鍵をかけているか、かけていないかで考えてよろしいでしょうか。

担当課：はい。

A委員：視覚障がい者のバリアフリー設備について、点字案内板が付いているのでしょうか。もし付けるのであれば「点字案内板はこちらです」という音声もセットで付けてほしい。点字案内板だけあっても見えなければ存在さえ分からない。音声案内を付けないのであれば点字案内板はいりません。もちろんエレベーターは「何階です」と言ってくれると思いますが、各フロアに降りたときにそのフロアの並びをどうやって知ることができるのか、壁にエリア毎の触って分かるような物を用意してくれるのか、職員が付いて案内してくれるのか、どの様に考えられていますか。弱視の人は壁が真っ白とかグレーとか1色だと見にくい。中心しか見えない人、中心が見えなくて周りだけ見える人、下半分だけ見える人等色々な見え方があります。胸やへその辺りに違う色のラインがあれば壁と分かるので色の工夫が必要です。見やすい色、見にくい色があります。壁の色について変更ができるのであれば検討してほしい。エレベーターが止まる緊急時に階段の案内を音声でできるのか、非常階段についての音声案内がないと逃げられない、初めて図書館に来た人は階段がどこにあるか分からないです。非常時の案内をどうされるのかお答えをお願いしたい。

担当課：非常時の案内の件はこれから検討させていただきたいと思っております。

担当課：非常時につきましてはその瞬間に停電するということがありますので、電気対応だと厳しいものもあります。バッテリーで動くものや、職員が必ず誘導に立ち非常階段の案内ができるような訓練を進めているところです。壁の色につきましては対応できるところはしていきたいと考えております。

A委員：階段が同じ色だと弱視の人は見えない、エッジのところだけ色を変えてもらうとかそういう工夫ですごく見やすくなります。車いすの人は地震でエレベーターが止まったらどうするのですか。

B委員：手段が無くなり、抱えてもらうことになります。

A委員：道具等を用意してもらえれば何とかできると思いますが、素手で抱えるのは難しいと思います。耐震化工事は建物だけでなくソフトの面もお願いしたい。

会 長：高齢の方で階段の一段を踏み外して骨折したとか転倒したと聞くことがございます。そういう意味でも階段の一番最後のステップの色を変えることは大事だと感じました。

A委員：食堂がなくなるみたいですが、喫茶とか全てなしになりますか。

担当課：食堂は平成28年度に募集しましたが、手を上げてくださる食堂がなかったので、今も閉鎖しています。その代わり談話室として飲食のできるスペースとなっています。

A委員：そこには自動販売機はありますか。

担当課：今は置いておりませんが、検討はさせていただけると思っております。今は3階の自習室の前に自動販売機がありますが、自習室が4階に移るので、改修後はそちらに設置予定です。

A委員：館内にはあるんですね。

担当課：ございます。

A委員：吹田の市民プールの自動販売機には点字シールを貼ってほしいとお願いしてボランティアさんに貼ってもらいました。点字を読める人がほとんどおらず、100人に3人かな。そんな現状なので、あまり強くは言えないです。駅の点字案内板は誰も触らないからたまに触ると手が真っ黒になります。千里山のトイレは音声案内がないため、そこにトイレがあること自体を知らなかった。点字案内版を設置するのであれば音声案内と一緒にしないと無駄になります。

会 長：今回の改修で自習室の場所が変わったり、書庫が移動したりがございますよね。閲覧席の増席や自習室が移動することで席数が変わったりはしますか。

担当課：広さにつきましては2階の閲覧室が310㎡から540㎡になりますので、利用していただける場所が広がります。あと、自習室は3階からそのまま4階に上がる予定で、ほとんど広さは変わらないのでそのままの席数を維持して使っていただけるかと思っています。集会室が若干狭くなりますが、真ん中を可動間仕切りにしまして、広く使ったり、狭くして2室にするなど対応していきたいと考えております。

A委員：各図書館に対面朗読室がありますので、今回もあると思いますが、音声パソコンは設置されますか、設置されるのであればどういう物ですか。

担当課：今は対面朗読室は2階にございます。今のところ専用のパソコンは置いてございません。改修後については検討させていただきたい。

A委員：現在は音声ソフトは入ってないんですか。

担当課：1台入っていると思いますが、使っていない状況ではあります。

A委員：視覚障がい者はそちらに行って対面朗読のみしか楽しめないのでしょうか。図書館でネットを閲覧するのにパソコンに音声が無かったらお手上げです。アメリカの法律で聴覚障がい、視覚障がいも同じように操作できるようにしなさいとあって、2009年からアップル社はiPhoneやiPadにも音声ソフトを初めから入れている。ダウンロードして読めるソフトがある。そういう物が図書館に置いてなければ、色々な情報をどのように利用したらよいのでしょうか。対面朗読は

平日なので、仕事を休んでまでは行かないです。また、対面朗読は1週間以上前からお願いしないといけないので、気軽にちょっと時間あるから利用したいなど思ってもできない。ソフト面を考えてもらわないと障がい者は無言のお断りのような感じに思えます。

担当課：現在場所が行きにくい、自動ドアではないこともありまして、対面朗読の利用は無い状況です。今回改修しましたら、自動でドアが開くようになり、視覚障がい者の方や車いすの方も入ってきやすくなると考えております。山田の駅前図書館はパソコンを持ち込んで中で聞いていただくようにしておりますし、さんくす図書館でもヘッドホンを付けて聞いていただくこともしております。CDやDVDも改装に合わせて導入する予定ですので、視聴機を置いて対応していきたいと思っております。常設でのパソコンを対面朗読室に置けるかどうかは今のところ難しいですが、音声対応のパソコンを持って入っていただくことは可能だと思っております。

A委員：ワイファイでパスワードをもらって自分のパソコンでネットを閲覧することは可能ですか。

担当課：ワイファイは対応していないので、そのまま有線にはなります。今後につきましては課題として考えます。図書館としてサピエに代行でつなぐことは考えていきたいです。

A委員：働いているのでガイドヘルパーを利用するとしたらお金がかかり、時間も決まっています。ヘルパーの利用で対面朗読を利用する2時間は中抜きになりますが、それで受けてくれるヘルパーがいない現状なので、中抜き2時間分もお金を払わないといけない。ちさと図書館は駅まで迎えに来てくれ人がいるが、土日は利用できない、働いているので土日しか休みがなく制度上利用できないようになっていくことは理解してほしいです。

会 長：他、何か御意見、御質問ございませんでしょうか。

B委員：集会室や自習室の机の高さ調整はできますか。車いすの高さに合うのかという検証はいかがですか。

担当課：現在の机は高さ調節ができないものでございます。改修後も同じ物を入れるつもりでございます。一部車いすに対応できるような方法を考えていきたいと思っております。

B委員：車いすの方の利用ではどのようなニーズがありますか。

担当課：車いすで来られて本を借りられる方はいますが、館内をご利用されている方はあまりいらっしゃらないと思います。

B委員：休憩室はどんなものですか。

担当課：休憩室は階段中2階でございまして、スロープはついていません。

A委員：今回の工事でもできないですか。

担当課：難しいです。

A委員：視覚障がい者と車いすの人はなかなか利用しにくいです。

担当課：改修後も対面朗読室を2階のまま変更しないで、休憩室のように利用していただくことは可能かと思えます。その場合エレベーターで直接行っていただけます。

担当課：休憩室の利用についてお声かけいただきましたら、対応させていただきます。

会 長：玄関は自動扉になるということでしたが、大きさはまだ確定していませんか。

担当課：はい。

会 長：火災が発生した場合など正面玄関から出入りができるとは限らないと思います。その時の出入りの場所や通路の広さの確保はいかがでしょうか。

担当課：避難口は正面玄関と自動車文庫が止まっている公園側を引き続き避難口としたいと考えております。通路自体の広さは変わる予定はありません。避難口は階段から直接出られるところです。なるべく物は置かないで通れるようにしたいと思っております。

会 長：1階の児童室の扉で外への出入りができる場所はありましたか。

担当課：一部ありますが、そこに壁やブレースが立ちますので無くなってしまいます。

会 長：新しく改修された建物は出入口は正面玄関と非常口の2か所だけということでしょうか。

担当課：はい。

会 長：児童室は改修後に場所は変わらず、耐震のための物が入るということで、かなり圧迫感のある感じになってしまうのでしょうか。

担当課：1階を中心に壁やブレースが立ちますので、圧迫感になると思います。書架のレイアウトなどを変えながら工夫してみたいと思っております。

会 長：壁が増えるのはマイナスではなく、耐震的にはプラスの要因です。特に小さいお子さんをお連れの方にとっては温かみのある雰囲気や居心地のいいお部屋作りにしてくださること、圧迫感を感じさせないレイアウトにしていただければ利用者の方が増えたり、今までは地震とか災害のときに心配だったけど今後は安心して小さい子どもを連れて行ける場所なんだと思っていただければいいのかと思います。

会 長：他、何か御意見、御質問ございませんでしょうか。

副会長：高齢の方にとっては図書館に来るまでに坂があります。

会 長：1階入ってすぐにエレベーターがあるのでしょうか、エレベーターの場所は分かりやすいですか。高齢の方は2階に上がっていただくことが多いと思います。入ってすぐに階段があるので、ここ上がらなあかんのかな行きにくいわ行けないわと思ってしまうれたらもったいないと思います。エレベーターがあること、新しく設けられる多目的トイレや授乳室の表示などアピールを十分していただけたらありがたいと思います。高齢の方に見やすい表示はあるのでしょうか。

副会長：高齢の方の利用は本が好きな方に限られています。運動などの楽しみがあり本を借りている方は少ないかと思います。本を借りれるだけではない楽しみを考えていただけたら、宣伝しやすいです。

A委員：吹田市も図書館がどんどん増えて、各地域で利用しやすくなっています。中央図書館は公園の中にあり、元気な人しか来れないのかなという気もします。

副会長：ずっと前から教育政策室などで中央図書館の件が出ていました。改修が遅くなりましたね、これ一言につきます。ほんとに良い立地条件のところ公園もありますし子どもたちも出入りできます。もっとたくさんの方が利用できる方法を考えてもらったらいいのかなと政策室の方でも声を上げていました。今後は耐震で立

派な建物が建つので色々な意味で一から出直して考えて行ってほしいなと思います。

A委員：1年以上の閉鎖の間は図書館は全く利用できない状態ですか、それとも一部利用できるところは作るのでしょうか。

担当課：中央図書館は来年の4月から来館していただけないようになりますが、4月から総合福祉会館1階の旧喫茶室を借ります。規模は大変小さいですけど予約本を取りに来ていただくとか本を返していただくとか新聞とか読んでいただけるスペースにしまして、そちらの方で仮営業という形でさせていただく予定です。

A委員：出張所みたいな感じですか。

担当課：はい。乳幼児の行事でブックスタートの広場やおひざで絵本などもしております。こちら総合福祉会館のお部屋をお借りすることができましたので、そちらで続けて行きたいと思っております。

A委員：それはいつからスタートですか。

担当課：来年4月からです。

会 長：工事期間中ずっと、ほぼ1年位を目途にということですか。

担当課：はい。

副会長：ほとんど貸し出しの窓口だけですよね。

担当課：そうですね。近隣の方に本を取りに来ていただけます。

A委員：クリーニング屋さんみたいですね。

会 長：車いすやベビーカー、高齢の方のシルバーカーとか来られる方が利用しやすいような十分な広さの確保や、地震のときの書架の固定、せつかくの本が地震のときにケガの原因や避難路を塞ぐということがあってはいけませんので、ぜひそういった対応も進めていただいて、安心して皆さんが図書館に来ていただけるというスペースになればいいのかなと感じました。さっきA委員がおっしゃった壁の色を変えとかはこの機会だから出来ることかもしれないです。色々なことを取り入れていただいたらいい図書館になるのかなと思いました。

会 長：他、何か御意見、御質問ございませんでしょうか。

A委員：バリアフリーに関してですが、こうして会議で意見を聞いてもらうことはありがたいですが、職員の方や設計される方が実際に見えないことや車いすの体験をしてほしいなと思います。浜屋敷でバリアフリーのガイドラインを提案して作りました。東京都の福祉保健部に心のバリアフリーと情報バリアフリーで70ページくらいのガイドラインがあります。東京パラリンピックを控えて、東京都が一生懸命バリアフリーをやっています。その中から浜屋敷に利用できる部分を抜粋して8ページくらい作りました。浜屋敷は江戸時代の庄屋の邸宅を利用している文化財なのでスロープは付けられず改造できません。車いすの人とか視覚障がい者、最近外国から来る人も増えてきて年間2万人以上来館者があります。そういった方が突然来られてもスタッフはどう対応していいか分からず声のかけ方も分かりません。総務交通室が車いすもアイマスクも白杖も一式持っており、来年2月にバリアフリーの出前講座をしてくれます。10人以上で無料でしてくれます。浜屋敷のガイドラインに研修は1回だけではなく何回もすると入れてもらいました。

図書館の方も体験してないのであれば、そういうのも体験してから会議を開いてほしいなと思います。

副会長：公民館でも今年来てもらい、白杖体験もしました。徐々に広がっていると思います。

会 長：身近でサポートしている姿を見てもらうとか、今回の図書館の改修工事に伴って新しいものを取り入れられるのであればぜひそのアピールもしてください。誘導チャイムはご存じない方も多いと思います。なぜ誘導チャイムが付いているのか知らないままに、うるさいから消してしまえとかいつもピンポンピンポン鳴っているとか、まだまだそういうご意見を耳にすることがあります。こういう目的のために入れました、こういうことを整えましたとぜひ多くの方に知っていただけたらと思います。今日の資料はルビを振ったものを用意していただきましたが、中には子どもじゃないからこんな表示はいらないとか言われる方もいます。知的障がいの方や多文化の対応で外国の方で平仮名であれば読める方はおられるので、ぜひこういう理由でルビを振ってるということを多くの方に理解していただけたらゆくゆく心のバリアフリーにも役立っていくのかと思います。ぜひアピールをよろしくお願いします。

A委員：視覚障がい者で総合福祉会館を利用した土曜日に誘導チャイムが切られていて玄関が分からないことがありました。担当の人が土曜日だけ切っていたみたいです。きちんと使用申請出しており、みんな視覚障がい者なのでその間はチャイムを鳴らしてほしい。それともう一つは内本町のコミセンはチャイムが付いているのにずっと切られたままでした。付けてほしいと依頼したら実は付いていたんです。

会 長：せっかくあったものがきちんと活用されていなかったってことですよね。

A委員：音響信号機はだいたい朝の8時から夜の8時くらいまで鳴らします。7時頃通勤のために音響信号機の場所を通るので、8時から鳴ったら意味がないです。7時から鳴らしてほしいと警察にお願いしたら変更してもらえました。ルビの件ですが、音声ソフトでルビが付いていると2重読みします。意味が分からない、だからバリアフリーのために付けてもらったルビが視覚障がい者にとっては全然読めないことがあります。ルビ入りのページを作成するのであればルビなしのページも作ってほしい。障がい者みんな違うからそういうことがあるのです。特に聴覚障がいの人とはコミュニケーションできないです、何も言わず横にいても存在が分からない。唯一メールでやり取りします。障がい者みんなひとくりにされても、みんな違うので、それぞれの障がいに配慮した対応はお願いしたい。

会 長：他、何か御意見、御質問ございませんでしょうか。なければ吹田市立中央図書館耐震補強及び大規模改修工事についての案件は終わりたいと思います。その他として昨年度の案件についてA委員からご報告をお願いします。

A委員：前回のバリアフリー市民会議で市役所本庁舎の正面玄関入ったところ、市民課の前の点字誘導ブロックの位置が非常に混雑する場所にあり、視覚障がい者とその点字誘導ブロックを利用するとぶつかる可能性が十分にあるとのことで点字誘導ブロックを張替したいと議題が上がりました。その時に用意してもらった立体コピーが本庁舎の建物全体のコピーで、点字誘導ブロックの位置も分からないし、現状と張り替えた後の状態の内容が全く分からない図面でした。必要な部分だけ

拡大コピーしてもらえれば良かったんですが、全く理解できないからこれでいいですかと聞かれても返事できませんでした。会議終了後に市役所の担当者と現場に行ってみると実際に張られているところを確認しました。提案通り問題ないことが分かりましたので5分で了解したということで報告させていただきます。

会 長：ちなみに本日の会議資料はいかがでしたか。

A委員：壁の概要と位置関係で図面の左下にどういう部屋があると枠しか分からないです。僕たちはそれよりもソフト面で音声で案内があるのかとか、もし点字版を付けるのであればどこにあるのかを知りたいけど、この図面にはそういうのは載ってないですがそれは仕方ないと思います。これだけ資料そろえてくれたということで有難く思っています。ボランティアさんが点字でシールを貼ってくれました。全く分からないよりも建物の大きさとか部屋割りとかそういうのは分かりますので良かったと思います。

会 長：それでは本日予定しておりました案件はすべて終了いたしました。最後になりますが、副会長から挨拶をお願いします。

副会長：今日はありがとうございました。バリアフリーという会議ですが、耐震が課題だと思います。耐震に関して専門的に検討していただけたらと思います。今日のこの会議の中で色々と課題が出てきました。多目的トイレの増設や点字の案内が音声とともにあればもっと利用しやすいとか壁の色の問題が出てきました。一番気になったのは災害時の対応です、職員に行きわたるように指導していただきたいです。自習室の机の問題をB委員が出されたと思いますが、車いすの方も机で読めるような対応をしていただければB委員の声も反映されるかなと聞いておりました。障がい者に対する職員の指導も行き届いていればありがたいかなと思います。せっかく待ちに待った中央図書館の改修を機会に山田やさんくすに負けないような地域に開かれた管理をしていただけたらと思っています。以上です。ありがとうございました。

A委員：視覚障がい者の案内について、大阪メトロを参考にしてほしいなと思います。点字案内板は必ず音声案内がありますし、トイレも男子トイレ女子トイレとちゃんと言ってくれます。だから一人で行けるんですね。大阪モノレールの山田駅のトイレは入口では何にも言ってくれず、入ってから女子トイレですと中にセンサーを付けられても困るんですね。入口には押しボタンがあるが、ボタンはこちらですとの音声案内はありません。

会 長：長時間になりましたがありがとうございました。今後ともよろしくをお願いします。